

こんしゅう　ちから
今週のことば「力」

せいしゅ　ふくいんしゅ
《聖書》ルカによる福音書 24:46-53

ちから　み　ちか　つか
「力」ということばは、ごく身近に使
られるもので、その用法は数に限りがあ
りません。一般に、自分の力で何かをや
るとか、独力であることを完成させた
とき　ひと　りから　たよ
いう時は、人の力に頼らずにやれたとい
う自己満足が含まれています。聖書の中
でも、自分の力を過信して失敗した例が
たびたびでできます。その一つは、イス
ラエルの人たちが自分たちの国を建てる
ことができたとき、これは自分たちの力
でできたのだと思い込むようになったこ
とです。その結果は国の分裂と滅亡でし
た。自分たちが神の力によってはじめて
国を建てることができたのに、その神の
力を認めようとしなかったのです。イス
ラエルの人々が自分たちをさばく王を求
めたときの話に、はっきりと述べられて
います。神がイスラエルの王であるにも
かかわらず、自分たちの王を求めると
は、神の力を認めないことだと主張され
ています(サムエル記上8:4-22参照)。
しゅつ　き　しゅう　しゅうり　うた　かみ
出エジプト記15章の勝利の歌は、神の
力が人の力や馬の力をはるかに越えて偉
大なものであることが歌われています。
じぶん　ちから　かみ　ちから　じ
自分たちの力でなく、神の力によって自
分たちが救われるという体験は、この出
エジプトの出来事を通して強められ、そ

ご　しんこう　もとい
の後信仰の基となっていました。
ひとびと　びょうき　なお　あくれい
イエスは人々の病気を治され、悪霊を
はらわれました。その当時、病気が悪霊
のせいになされていたので、病気を治
すということは、この悪霊の力に打ち勝
つことを意味しました。そこで、人々は
イエスのうちに神の力が働いていること
を知りました。今の私たちにとって、病
気が治るのは医学によってであり、超自
然的な力によっておこなわれたとは感じ
ません。しかし、医学のなかった聖書の
時代でしたから、病気を治された時に神
の力を感じていたのです。

ちから　おこ
力あるわざを行なったのはイエスだけ
ではありませんでした。イエスに従った
弟子たちも、イエスの死後各地方へ行っ
て、偉大なわざを行なったと伝えられてい
ます。私たちも弟子たちと同じように、
イエスから力をいただいています。私た
ちが決して自分の力にのみ頼らないで、
自分のうちに働いておられるイエスの力
に信頼して行かなければ、たとえ自分が弱
くても力あるわざを行うことができます。
わたし　うご　ちから　い
私たちをつき動かす力によって、生かさ
れていることを実感するようになりたい
と思います。私たちの活動のエネルギー
はいつも神からいただいていることに、
あらためて心を向けるようにしましょう。
しゅ　しゅうてん　しゅじつ　ねん　たきの
主の昇天の主日C年(滝野)